

問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課専門官 成田 誉孝

電話 022-363-0111 (内線 2511)



平成26年9月2日  
第二管区海上保安本部  
午後3時発表

## 「震災と海図」パネル展を開催します

第二管区海上保安本部は9月12日の水路記念日\*にあわせて、9月5日からイオンタウン塩釜1階でパネル展示を行います。

○開催日時：平成26年9月5日（金）～17日（水）午前10時～午後6時  
（9月8日と16日は除く）

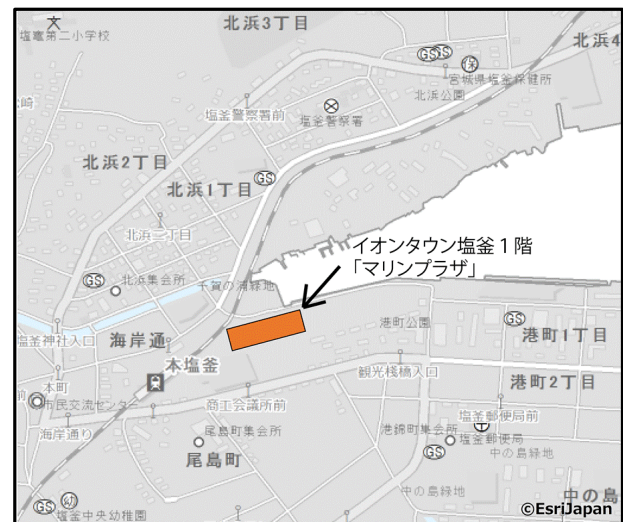
○開催場所：塩竈市情報・交流コーナー「マリンプラザ」  
イオンタウン塩釜1階（塩竈市海岸通15番100号）  
仙石線本塩釜駅から徒歩2分

○主な展示資料

- ・震災直後実施した航路啓開資料
- ・緊急水路測量から作成した情報図
- ・海底地形陰影図
- ・港湾の測量成果と海図改版状況
- ・水深図による震災前後の変化

○その他

- ・入場料は無料です
- ・以下の日時は職員による説明を実施いたします  
9月5日午前10時～午後1時  
9月12日午前10時～午後1時  
9月17日午前10時～午後1時



\*水路記念日について

明治4年（西暦1871年）に兵部省海軍部に水路局（後の水路部、現在の海洋情報部）が置かれたことを記念する日。この水路局設置により我が国の本格的な海図作成が始まりました。今年で143年目となります。

展示パネルイメージ

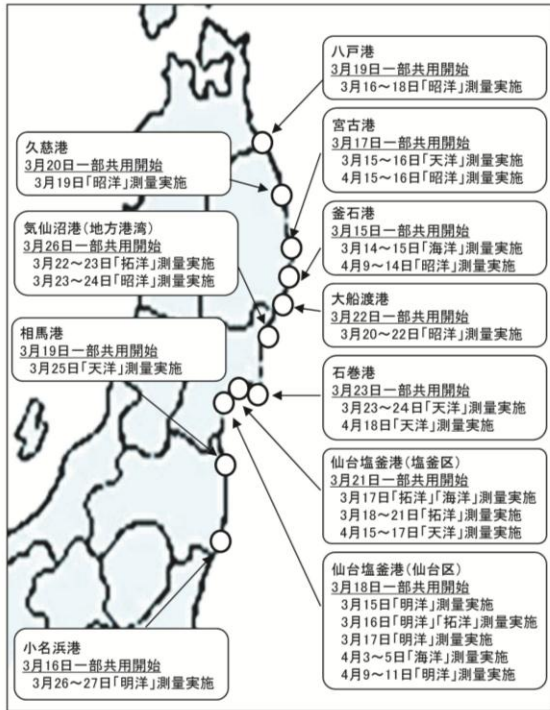
航路啓開のための水路測量

2011年3月14日～

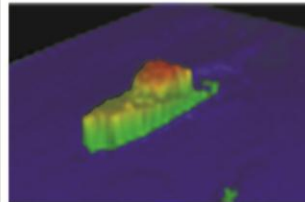
地震直後全測量船に対して直ちに派遣指示。被災港湾における航路啓開作業を支援

- 港湾局等と連携して、地震・津波の被害を受けた港湾機能の早期回復に努力。
- 国際拠点港湾、重要港湾を中心に11港の水路測量を実施し、一部供用開始を3月26日までに実現。

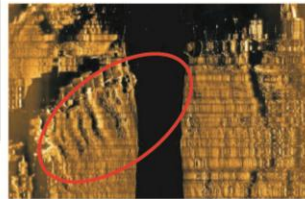
■ 水路測量実施箇所



▲「天洋」に先導されて宮古港検査錨地に向かう大型渡洋兼油回収船「白山」



▲ 塩釜港内の沈船の状況



▲ 大船渡港の崩れた防波堤の状況



大船渡港での「昭洋」測量艇



仙台塩釜港塩釜区での「拓洋」測量艇「じんべい」

海上自衛隊との連携  
ゴムボートによる測深区域の浮遊物撤去  
測量艇格納時にダイバーによる除去

仙台塩釜港仙台情報図(1/4)



関係各位

平成23年4月11日

第二管区海上保安本部  
海岸防衛部

後継部の利用について

平素から、海上保安本部と御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。さて、この度の震災で被災した各港湾における船舶の安全な航路確保のため、海上保安本部では本防衛隊を先遣し、測深の船舶修理に取り組みているところですが、測深の最新情報は時間が必要なおから、測深を船舶修理中らまでの間の船舶交通安全対策として、水深データをより得られた成果をとりまとめ、御提供として作成し、提供することといたしました。提供にあたりましては、下記事項を御注意していただければ幸いです。

記

- 1 補修中であり、復旧ではありませんので、測深を禁ずる区域で、測深と併用してご利用ください。
- 2 右岸側は測深が、測深の最新データが行われるまで(復旧が船舶修理から2ヶ月間)です。
- 3 補修状況を御参考してご利用してもかまいませんが、御確認であることを御留意の上ご利用ください。
- 4 補修状況は御参考であり、危険とは異なる番号を掲載しているものがあります。ご留意がある場合は、別途「022-268-0111」内線2544までお問い合わせください。

緊急水路測量後、情報図を作成・提供

海上保安庁では、震災直後に航路啓開を実施、最低限の船舶の安全を確保した後に緊急水路測量を実施しました。上の図はその測量結果を海図の改版と補正図の発行が行われるまでの対応として、港湾管理者、地方整備局や海上保安部署を通じて港湾関係者へ提供したものです。